



住宅防火を見直しましょう



春は空気が乾燥し、火災が発生しやすい時期です。火災を起こさないために、それぞれの家庭で自宅の防火ができているかこの機会に見直しましょう。

春季全国火災予防運動
3月1日(日)～7日(土)

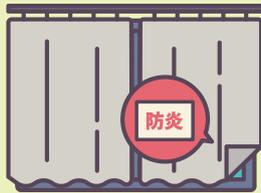
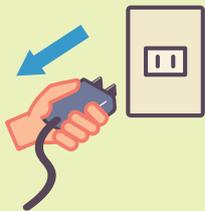
■ 問い合わせ 消防本部 予防課 420-2125

《2025 年度全国統一防火標語》『**急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし**』

住宅防火 いのちを守る10のポイント

4つの習慣

- 寝たばこは絶対にしない、させない。
- ストープの周りに燃えやすいものを置かない。
- コンロを使うときは火のそばを離れない。
- コンセントのほこりを定期的に清掃し、不必要なプラグは抜く。



6つの対策

- 火災の発生を防ぐために、ストーブやコンロなどは**安全装置の付いた機器**を使用する。
- 火災の早期発見のために、**住宅用火災警報器**を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- 火災の拡大を防ぐために、**部屋を整理整頓**し、寝具や衣類、カーテンは**防災品**を使用する。
- 火災の被害を最小限にするために、**消火器などを設置**し、使い方を確認しておく。
- 高齢者や体の不自由な方は、**避難経路と避難方法を常に確保**し、備えておく。
- 防火防災訓練への参加や戸別訪問など、**地域ぐるみで防火対策**を行う。

● 令和7年 市内での火災件数および出火原因

原因区分	計	たばこ	コンロ	電気機器	電灯・電話などの配線	配線器具	火遊び	灯火	放火	放火の疑い	その他	調査中・不明
件数	32	2	5	4	1	2	1	1	2	1	4	9

感震ブレーカーを 設置しましょう

地震による建物火災の半数以上が、電気が原因で発生しています。

電気火災防止対策には、感震ブレーカーが有効です。

感震ブレーカーとは、地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止め、火災の発生を未然に防ぐ装置です。

感震ブレーカーを設置して、電気火災から家族と家を守りましょう。



(コンセントタイプ)

戸田市少年少女消防クラブ員募集中

小学生から高校生まで、防火防災に関する知識と技術を楽しく学び、団体活動を通じて規律と礼節を学ぶクラブです。リーダーシップを学びたい中学生、消防・防災について楽しく知りたい小学生を募集しています。



令和7年度の課外研修では、YOKOSUKA 軍港めぐりに参加し、はまぎんこども宇宙科学館で研修をしました。

資格	小・中学生の男女 ※活動は高校3年生まで 継続可
会費	年間 1,800 円
活動	土・日曜日や祝日などの 休日に年間を通して 10 回程度

